

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4122318号
(P4122318)

(45) 発行日 平成20年7月23日 (2008. 7. 23)

(24) 登録日 平成20年5月9日 (2008. 5. 9)

(51) Int. Cl.	F I
B 4 1 F 31/02 (2006. 01)	B 4 1 F 31/02 A
B 4 1 F 7/24 (2006. 01)	B 4 1 F 7/24
B 4 1 F 13/00 (2006. 01)	B 4 1 F 13/00 D

請求項の数 4 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2004-216485 (P2004-216485)
(22) 出願日 平成16年7月23日 (2004. 7. 23)
(65) 公開番号 特開2005-41225 (P2005-41225A)
(43) 公開日 平成17年2月17日 (2005. 2. 17)
審査請求日 平成16年7月23日 (2004. 7. 23)
(31) 優先権主張番号 20311536.8
(32) 優先日 平成15年7月26日 (2003. 7. 26)
(33) 優先権主張国 ドイツ (DE)

前置審査

(73) 特許権者 599011584
エム・アー・エヌ・ローラント・ドルック
マシーネン・アクチエンゲゼルシャフト
ドイツ・オッフエンバッハ・63075・
ミュールハイマー・シュトラッセ・341
(74) 代理人 100064908
弁理士 志賀 正武
(74) 代理人 100089037
弁理士 渡邊 隆
(74) 代理人 100108453
弁理士 村山 靖彦
(74) 代理人 100110364
弁理士 実広 信哉

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インキ装置を換気するための装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷機のインキ装置、特に枚葉オフセット印刷機のインキ装置を換気するための装置であって、インキローラを覆うカバーに取り付けられたファンを有し、前記ファンにより、インキローラに向けた気流が発生可能とされた装置において、

前記ファン（10）に対して、気流に作用する調整可能な気流誘導装置（11）が設けられ、

前記気流誘導装置（11）は、架台に固定された旋回軸（12）を支点に揺動可能に支持されており、

前記気流誘導装置（11）の前記旋回軸（12）は、直線案内部（13）を介して変更可能に設けられていることを特徴とする装置。

【請求項 2】

前記気流誘導装置は、導風板（11）であることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記気流誘導装置（11）は、前記インキローラ（3）に対する位置が調整可能に設けられていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記カバー（9）内には、型幅にわたって延在する複数のファンの（10）が配置されているとともに、前記気流誘導装置（11）は、前記ファン（10）の配置幅を有していることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の装置。

10

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、請求項1の前提部分において書き部に記載のインキ装置を換気するための装置に関する。

【背景技術】

【0002】

枚葉オフセット印刷機では、印刷されるインキは、インキ溝から、インキ溝ローラ、下流側のインキローラ、およびインキ塗布ローラによって、版胴に取り付けられた印刷版に塗布される。インキ塗布ローラの回転方向上流側には、湿し装置のローラが配置されている。このローラによって印刷版に湿し液が塗布されるので、親水性部分が湿し液で湿り、その結果インキを弾く状態になる。

10

【0003】

インキの種類および粘度によっては、あるいは印刷注文（題材）の種類によっては、湿し液は、インキ装置の上部（ローラ）に達する。ある程度まではインキ装置の上部でインキによって湿し液を吸収することが有利であるが、過剰な湿し液がインキ装置の上部に達しないように注意する必要がある。過剰な湿し液がインキ装置の上部に達すると、インキ/湿し液のバランスが損なわれ、印刷工程に悪影響を及ぼすことがあるからである。

【0004】

欧州特許第0591986号明細書（特許文献1）から、インキローラに向けた気流を発生させることのできる一列に並んだ軸流ファンを、インキローラを覆うカバーに取り付けることが公知である。この気流によって、インキ中に含まれる湿し液が排出される。個々のファンは、その気流供給量を調整することができる。しかし、その欠点は、ファンを調整することはできても、そのつど印刷条件に個別に適応させることができないことである。

20

【特許文献1】欧州特許第0591986号明細書

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

したがって本発明は、製造技術上の高い費用をかけずにそのつどの印刷工程に個別的に適応できる解決手段が得られるように、請求項1の前提部分において書き部に記載の、インキ装置を換気するための装置を拡張することを目的とする。

30

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記の課題は、請求項1の特徴によって達成される。本発明のその他の実施形態は、従属請求項から明らかにされる。

【0007】

本発明によって、ファンの下流側には、気流に作用する調整可能な気流誘導装置が配置される。本発明の好適な実施形態では、インキローラの前側のカバーに一列の軸流ファンが並置され、このファンの気流に作用する調整可能な導風板が、印刷機の型幅にわたって延在する薄板として形成され、該薄板は、揺動可能および/または位置（高さもしくはインキローラまでの距離）に関して変更可能に取り付けられている。したがって、ファンによって発生される気流は、インキローラの特定期間を目標にして向けられ、もしくは特定のローラ群に向けられることができる。したがって、インキからの湿し液の排出効果が高まり、その上、そのつどの印刷条件に正確に適応した流れを達成できる。

40

【0008】

次に図面を参照して本発明の実施例を説明する。図は、本発明によって備えられた調整可能な気流誘導装置を有する、インキローラの前側のカバーに取り付けられたファン配列を示している。

【発明を実施するための最良の形態】

50

【 0 0 0 9 】

印刷されるインキは、インキ溝 1 からインキ溝ローラ 2 と下流のインキローラ 3 とを経てインキ塗布ローラ 4 へと給送される。インキ塗布ローラ 4 は、版胴 5 上に取り付けられた印刷版と接触している。インキ塗布ローラ 4 の回転方向上流側には、湿し装置ローラ 7 と連動する湿し液塗布ローラ 6 が配置されている。版胴 5 の回転方向の最初のインキ塗布ローラ 4 はさらに、ブリッジローラ 8 を介して湿し液塗布ローラ 6 と接触している。

【 0 0 1 0 】

インキ装置のインキローラ 3 を覆うカバー 9 には、印刷機の型幅にわたって延在する一連の軸流ファン 1 0 が取り付けられている。この軸流ファン 1 0 によってインキ装置のローラ 3 に向けた気流（矢印）を発生させることができる。

10

【 0 0 1 1 】

この一列の軸流ファン 1 0 の下には、型幅にわたって延在する導風板 1 1 が設けられている。この導風板 1 1 は、架台に固定された旋回軸 1 2 周りに揺動可能に支持されている。導風板 1 1 の旋回軸 1 2 は、直線案内部 1 3 によって高さ調整可能であるので（旋回軸 1 2 の両端は架台に固定された直線案内部によって収容されている）、導風板 1 1 は、さまざまな位置にもさまざまな高さにも固定することができる。このようなさまざまな調整位置は、点線で示されている。

【 0 0 1 2 】

導風板 1 1 を揺動可能に、ならびに高さ調整可能に支承することによって、軸流ファン 1 0 の気流をインキ装置の所定のインキローラ 3 には集中することができ、インキ装置の所定のインキローラ 3 は、軸流ファン 1 0 の気流から意図的に外すことができる。

20

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 3 】

【 図 1 】 本発明によって備えられた調整可能な気流誘導装置を有する、インキローラの前側のカバーに取り付けられたファン配列を示す図面である。

【 符号の説明 】

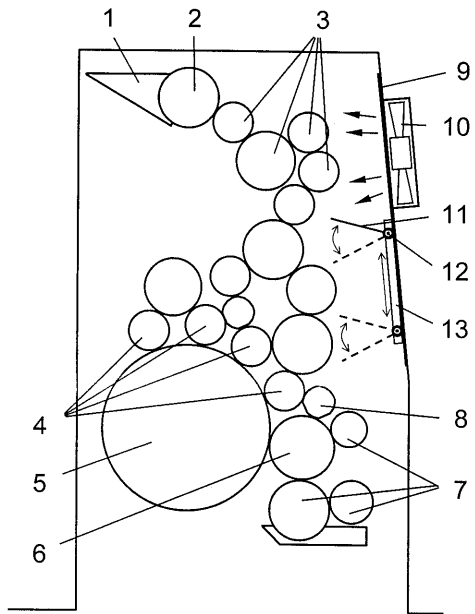
【 0 0 1 4 】

- 1 インキ溝
- 2 インキ溝ローラ
- 3 インキローラ
- 4 インキ塗布ローラ
- 5 版胴
- 6 湿し液塗布ローラ
- 7 湿し装置ローラ
- 8 ブリッジローラ
- 9 カバー（インキ装置）
- 1 0 軸流ファン
- 1 1 導風板
- 1 2 旋回軸
- 1 3 直線案内部

30

40

【図 1】



フロントページの続き

(72)発明者 ゲルノート・モーザー

ドイツ・65385・リュースハイム・フレヒターヴェーク・24a

(72)発明者 ウヴェ・ピュッセル

ドイツ・55262・ハイデスハイム・ベルンデス・アレー・42

審査官 國田 正久

(56)参考文献 実開平06-032035(JP,U)

実開昭63-080130(JP,U)

実開平05-028635(JP,U)

特開平08-001918(JP,A)

特開2000-301818(JP,A)

特開平11-177265(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B41F 31/02

B41F 7/24

B41F 13/00